

『N I E 社会的養護演習 I・II の実践報告』

－保育学科のアンケートを中心に－

松井圭三（中国短期大学総合生活学科）

1 研究の概要

これまで、2012 年本学保育学科における学生の新聞についての意識調査の分析、2013 年学科間の学生の新聞についての意識調査の比較、2014 年異なる学科・学校種間の比較、2015 年「NIE 実践後の効果アンケート」結果からの各学科の効果の特徴把握、2016 年社会福祉ワークブックを用いた N I E 実践、2017 年は『N I E 児童家庭福祉演習』を作成後、授業で用いて、本学保育学科学生の意識調査、2018 年は「NIE 社会福祉記事ワークブック」の実践と各分野に関係したテーマについての論文の文章力の変化について分析した。2019 年は、「NIE 家庭支援論演習」の実践報告、2020 年は「NIE 介護の基本演習」を実践し、アンケートを実施し、報告した。2021 年度は「社会福祉科目の N I E 授業実践報告」を行った。

今回は、本学保育学科 1 年生において「社会的養護 I」の科目で 2020 年出版した「N I E 社会的養護演習 I・II」の学習実践を行った。具体的には、各章で記事が 2 つ、ワークシートは 2 つ、解説が 2 つあり、10 章立てで構成している。授業では、各ワークシートを学生に自ら演習させ、その後解説をした。また、おもな章として「社会的養護の理念と概念」、「子どもの人権擁護と社会的養護」、「社会的養護の制度と実施体系」のトピック等について学んだ。また、新聞丸ごと使用し、学生が各テーマの新聞記事を自由に探し、スクラップし、わからない語句、用語、法律、制度を調べ、また記事を読んだ要約、感想をワークシートに記入させた。その後、小グループで各自がその内容を発表する機会を設けた。また、今回は新聞だけでなく、各テーマにあったニュース、番組の一部も学生に視聴させ、感想文を課すことにした。この授業後特に「同演習 I・II」の授業効果についてアンケートを取り、集計、分析したものである。このアンケート結果を通して社会福祉教育における NIE 実践の効果を明らかにし、あわせて指導上の課題について考察する。

2 研究の結果

2021（令和 3）年の後期、保育学科 1 年生において、「社会的養護 I」の科目の授業後、アンケート調査を行った。同調査では、「同演習 I・II」を用いて同科目の制度や法律、専門用語等を調べたことが役に立ったか。また、「同演習 I・II」の学習が新聞を読むうえで役にたったかの質問をした。大半の学生が役に立ったと回答している。

また、この授業では、「同演習 I・II」の解説後、授業に関係したニュースやテレビ番組の一部を学生に鑑賞させ、新聞とビデオの融合学習がどのように学生の授業満足に影響したかを調査した。大半の学生が、新聞で学んだ後ビデオで現状を学ぶことについて評価している。

加えて、NIE 実践後、授業前より新聞を読むようになったかを問い、新聞を読んでいる学生には 1 日どれだけの時間、新聞を読んでいるか、またどのような記事を読んでいるかを問うたところ、23 人の学生であるが新聞を読むようになっていた。しかし、新聞を読んでいる時間は 5 分程度が一番多く、詳細には読んでいないことが伺われる。読んでいる新聞記事は I 新聞全体 II 政治経済関係 III 家庭・暮らし関係 V 社会保障・社会福祉関係 VI 地元の情報関係等である。

3 考察

今回は授業でも、「同演習 I・II」の学習が学生に効果があったことがアンケートから判明した。また、各トピックにあったビデオ学習も学生の授業の効果があったことも理解できた。また、この N I E 実践がその後の学生の新聞を読む契機となったことも理解でき、N I E 実践の継続の重要性を改めて痛感した。しかし、まだまだ学生は新聞を読んでいないので、どのようにすれば読むようになるのかを今後も改めて検討していきたい。